

## アセスメント表

### 1 調査実施者（記入者）

実施日	2018年2月1日		
記入者氏名	佐藤 京子	所属機関	相談支援事業所「きょうと」

### 2 調査対象者

対象者氏名 (性別)	山本 はな (女性)	生年月日	19XX/4/20 (40歳)
現住所	京都府長岡京市		

### 3 障害手帳等級及び支援区分

手帳種別	身体 ・ 療育 ・ 精神	等級及び支援区分	種 級 B 判定 区分 4
障害名 疾病名	知的発達遅滞 気分障害（うつ）		

### 4 本人の訴え（願い・困りごと）

<p>母：64歳になって自分自身の健康不安もあり、また経済的にも楽ではない中で、本人が金銭の要求をしてくることで喧嘩や暴力が絶えない。自分が言い聞かせても変わらないので、本人に厳しく指導して欲しい。また、自分の病気が進行した時のことが心配ではない。どうすればよいのかと考えてみるが、良い方法が浮かばない。他の人は、どうしているのだろうか？また入院が決まり、その間が心配。将来については、できれば施設に入所してほしい。</p> <p>本人：今の施設は楽しいけど、お給料をもらえないのが残念。前みたいにお給料を稼ぎたいと思う。自由なお金があれば、親と喧嘩をしなくても良くなる。母は、嫌いではないけど、うるさすぎる。もう少し、自由にさせて欲しい。今は、一緒にいると喧嘩ばかりになる。一人で暮らしてみたい気持ちもあるけど、不安も多い。休みの日も、母と一日中一緒にいるのは嫌。どこかに出かけたい。けれども、一人で出かけるのは不安に思う。あとは、「お母さんの入院があるので、お母さんが心配」と漏らしている。（6カ月毎のモニタリングでの内容も含む）</p>
---

### 5 本人のストレングス

【個人のストレングス】
【環境のストレングス】

## 6 アセスメント結果

### ①生活基盤に関する領域

項目	チェック項目			本人の能力と制限 気づいたこと 環境の能力と制限 気になること
	援助の要・不要	実態	希望	
経済環境	不要	本人年金（6.5万）と生活保護（12万）で暮らしており、日常の生活費には困っていない。ただ、本人の金銭要求に応えていくなれば、余裕がない。	ナシ	親の許可を得てでないと必要なお金も得られない状況であり、このあたりが喧嘩の要因になっている。
住環境	要	2LDKのアパート暮らし（家賃は5万）だが、個々人の居室がない状況で、常に親子が一緒にくらしている。物の整理もついてない状況にある。	ナシ	自分で好きなことをして過ごす力はあるも、常に母と一緒にいるため、何をしても衝突が起きている。

### ②健康に関する領域

項目	チェック項目			本人の能力と制限 気づいたこと 環境の能力と制限 気になること
	援助の要・不要	実態	希望	
服薬管理	要	母が、本人処方薬を管理している。飲む時間、飲む薬の種類なども、本人だけでは管理が難しい。	ナシ	母が出し忘れた時などは、自分から要求をすることはできている。
食事管理	不要	特に食事制限もなく、体調面での不安もない。むしろ、母への食事管理が必要な状況。	ナシ	母に食べすぎを注意することがある。好き嫌いも少ない。
病気への留意	要	服薬を忘れると調子を崩すということもないが、月1回の定期的な通院は必要と主治医にいわれている。	ナシ	母と通院している。母不調時は、一人で受診することもある。

体力	不要	特に不調はない。	ナシ	施設には、休まず通えている。
----	----	----------	----	----------------

### ③日常生活に関する領域

項目	チェック項目			本人の能力と制限 環境の能力と制限	気づいたこと 気になること
	援助の要・不要	実態	希望		
寝返り	不要	自分で可能。	ナシ		
起き上がり	不要	自分で可能	ナシ		
衣服着脱 (上衣) (ズボン等)	要	本人は自分でできていると話す。母は、明日着る物の準備などを、全て母がしており、時々前後を間違えることもあると話す。	ナシ	本当は、着たい服などもあるようだが、母が準備するので、その都度喧嘩になると話す。	
整容行為	要	本人は自分でできていると話す。母は、寝癖などをなおすこともできないので、本人が気を悪くしないように毎朝整えていると話す。	ナシ	日常の会話では、おしゃれにも興味があるようだが、日常ではおしゃれという感じではない。	
食事行為	不要	自分で可能	ナシ		
排泄行為 (排尿) (排便)	要	日常の排尿・排便は可能。 以前は便拭きに失敗があったが、シャワートイレになり、上手にできるようになった。 生理時のみ、母が手伝うことがあるとのこと。	ナシ		
入浴行為	要	日常は、一人で入浴しているが、上手には洗えていないとのこと、そのため、週に1回程度、母と一緒に入浴して、全身を洗っている。	ナシ	やり方さえ教えてもらえれば、自分だけでできると、本人は話している。	
ベッド移乗 (床) (車いす等)	不要	特に問題は生じていない。	ナシ		
屋内移動	不要	特に問題は生じていない。	ナシ		
調理(後かたづけを含む)	要	全て母が担っている。同居のため、特に問題は生じていないが、母の体調不良時は、コンビニ弁当になるとのこと。	ナシ	本人は、コンビニ弁当の方が、好きなものを選べるので嬉しいと話す。	
洗濯	要	全て母が担っている。同居のため、特に問題は生じていないが、母の体調不良時は、洗濯物がたまってしまふとのこと。	ナシ	クリーニング店で勤めていたこともあり、やり方を学べばできると、本人は話している。	
掃除	要	全て母が担っている。とはいえ、整理整頓・清掃が行き渡っている状況ではない。母も、あまり気になっている様子はない。	ナシ	掃除は嫌いと、本人も母も話す。	
整理・整頓	要	全て母が担っている。とはいえ、整理整頓・清掃が行き渡っている状況ではない。母も、あまり気になっている様子はない。	アリ	本人は、要らないものは捨てたいようだが、母がもったいないといってくるかと話す。誰かが捨ててくれれば良いのにと思うとのこと。	
ベッドメイキング	要	全て母が担っている。	ナシ		
書類の整理	要	本人にまつわる書類なども、雑然としており、必要な書類も紛失することが多い。ただし、本人は母に確実に手渡している様子。	ナシ	母が、よく書類を無くすので困ると本人が話す。	
買い物	要	いつも母と一緒に買い物に行っている。ただし、本人は母と一緒に行くのは楽しくないと話している。	アリ	母以外の人と一緒に買い物に出かけたいと話す。	
衣類の補修	要	全て母が担っている。	ナシ		
育児	—		—		

### ④コミュニケーション・スキルに関する領域

項目	チェック項目			本人の能力と制限 環境の能力と制限	気づいたこと 気になること
	援助の要・不要	実態	希望		
意思表示の手段	要	自分自身で、自分のことを主張するのは苦手。本人が気を許した人には、ポツリポツリと言葉にすることがある。唐突に希望を訴えてくるが、真意がわかりにくいことが多い。また喧嘩になると大声でわめくが、それが本人の意思表示の手段になっている面もある。	アリ	母に文句を言って喧嘩になることが多いが、そのような時に真意がわかることも多い。相当我慢をしているのかもしれない。本人は、私の話を聞いて欲しいと訴えることは少ないが、話をすると色々と言葉にすることがある。	
意思伝達の程度	要	一度には、本人の意思はわかりにくい。何度も会話を繰り返すと、詳細が分かってくるがあると、施設の職員は話す。母は、本人は何も分かっていないと話す。	アリ	本人は、私の話を聞いて欲しいと訴えることは少ないが、話をすると色々と言葉にすることがある。繰り返し確認すると、本意を伝えることもできることがある。	

他者からの意思伝達の理解	要	都合の良いところだけを記憶していることも多く、思い違いが生じやすい。また、平易な言葉でなければ、理解できないことも多い。	ナシ	本人は大丈夫と話す。
電話の使用	要	あまり電話は使用していない。家にかかってくる電話も伝言を求められるのが不安らしく、自分からでることもない。	ナシ	携帯電話はかっこよいと思っており、職員のスマートフォンには興味がある様子。
FAXの使用		特に FAX を使用する用事はない。自宅の電話も FAX はなく、使ったこともない。		
パソコン		パソコンは所有しておらず、使ったこともない。ただ、興味はある様子で、施設の職員が使っている時に、興味深く覗き込むことがある。	ナシ	格好いいと本人は話す。ただ高いのでいらぬとも話す。
ワープロ				
筆記	要	簡単な文を、小学校低学年くらいの漢字交じりで書くこともあるが、誤字も多い。自身も苦手と感じているようで、職員に書いてと依頼してくることも多い。	アリ	必要なことは、職員に依頼することはできる。

### ⑤社会生活技能に関する領域

項目	チェック項目			本人の能力と制限 気づいたこと 環境の能力と制限 気になること
	援助の要・不要	実態	希望	
対人関係	要	母子間での喧嘩が絶えず、関係は良好ではない。しかしながら、互いに好きという感情はあり、表面上の関係の悪さとは異なり、むしろ本人は母を頼りにしている部分も多い。家族以外の対人関係でトラブルは生じていないが、思ったことを言葉にできず我慢していることは多いように見える。	アリ	本人は、親の口うるささを何とかして欲しいと訴えている。一方、母は本人を厳しく躾けて欲しいと訴えている。
屋外移動	要	単独での外出は自信がない模様。現在は、常に母と一緒に外出となっており、施設通所以外の単独外出の機会はない。	アリ	施設への通所は、バスを使ってできており、能力はある模様。ただし、不安が大きいため、誰かを必要としている様子が伺える。
金銭管理	要	現在は、全て母が管理している。このことが要因で、母子の喧嘩が絶えない状況である。	アリ	本人は自分で自由になるお金が欲しいと訴えている。母は、わがままを止めて欲しいと訴える。企業就労していた時は、お小遣いもあったようで、特に問題は生じていなかった模様。
危機管理	要	日常のこととは異なる突発的なことに、対処することは難しい様子。	ナシ	本人は特に困っていないと話す。母は、自分が病気で倒れてしまった時が心配と話す。

### ⑥社会参加に関する領域

項目	チェック項目			本人の能力と制限 気づいたこと 環境の能力と制限 気になること
	援助の要・不要	実態	希望	
レクリエーション等	要	初めての場所・人とはとにかく苦手な様子で、援助や配慮が必要となることも多い模様。ただし現在の生活では、レクリエーションの機会は無。	ナシ	
趣味	要	水彩画は、道具があれば、自分で片付けも含め、全て自分で行うことができる。絵の具の買い足し等、道具をそろえる部分は、母が行っている。	ナシ	本人は特に困っていないと話す。
旅行		旅行に行く機会がない。		
当事者団体の活動		特に参加していない。		
各種団体的活動		特に活動していない。		

### ⑦教育・就労に関する領域

項目	チェック項目			本人の能力と制限 気づいたこと 環境の能力と制限 気になること
	援助の要・不要	実態	希望	
教育	—		—	
就労	要	就労経験はある。最近、自由になるお金が欲しいという訴えの中で、お給料のことを言葉にすることが多い。	アリ	今の施設も大好きだが、自由になるお金が欲しいと訴える中で、仕事のことを言葉にすることが増えてきている。

## ⑧家族支援に関する領域

項目	チェック項目			本人の能力と制限 気づいたこと 環境の能力と制限 気になること
	援助の要・不要	実態	希望	
家族	要	母子間での喧嘩が絶えず、関係は良好ではない。しかしながら、互いに好きという感情はあり、表面上の関係の悪さとは異なり、むしろ本人は母を頼りにしている部分も多い。 母が2ヵ月後に糖尿病治療のための入院を1ヵ月間することが決まっており、その間の生活の体制は固まっていない。	アリ	本人は、親の口うるささを何とかして欲しいと訴えている。一方、母は本人を厳しく躾けて欲しいと訴えている。 また金銭要求が高まると、大声を出したり暴力がでることも多く、一緒に暮らしていて苦しいと母は話す。 本人は、喧嘩が絶えないので、ひとり暮らしを考えることもあるが、不安も多くて自信が持てないと話す。

## 7 関係機関からの情報

<p><b>【通所施設職員より】</b> 本人は、母との喧嘩がストレスらしく、よく不満を口にしている。お金やお給料ことも話題にあがり、仕事をしたいと話すことも多いが、よくよく聞いてみると、自由になる（親に干渉されずに使える）お金が欲しいという意味のようだ。休みの日など、母と1日一緒だとシンドイと言葉にすることも多く、そのような時に一緒に出かけてくれる人がいれば…と話すことが多いように思う。 施設側の事情としては、職員体制が厳しくなっており、申し訳ないのだけれど、通所している時間以外での協力は難しい状況にある。</p> <p><b>【精神科診療所 主治医より】</b> 母は、本人との喧嘩の原因を、本人の精神症状に求め、薬を出して欲しいと訴えてくることが多い。しかしながら、本人との話しでは、むしろ母子関係に起因しているようにも思い、少量の安定剤程度しか処方していない。ただし、医師として本人の病気のことを母に伝えていくことは重要と考えているので、月1回の母子での受診を促している。母子間の適切な距離を確保することが重要と考えている。</p> <p><b>【生活保護担当ワーカーより】</b> 難しいことはわからないが、とにかく喧嘩が絶えないようで、民生委員からも心配の電話が入ってくる。夜中でも、大声で喧嘩していることもあるようだ。なんとかしてあげたいと思うのだが…。</p> <p><b>【障害担当ワーカーより】</b> 喧嘩が絶えないのはやはり心配に思う。親子が分かれてグループホーム等で暮らすことを考えてもよいのではないかと。</p>
---

## 8 応対者所見（注目すべき点、気になる点を含む）